

令和6年度 ごみ性状調査結果

調査対象工場：世田谷清掃工場

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

調査項目	年 度 代 表 値 ^{※1}
ごみ組成(%) (湿ベース ^{※2})	可燃物 99.06
	紙類 36.94
	繊維 7.03
	厨芥 22.03
	木草 6.31
	プラスチック類等 24.26
	プラスチック類 23.02
	ゴム・皮革 1.24
	その他の 2.49
	不燃物 0.94
三成分(%)	金属 0.36
	ガラス 0.12
	石陶器 0.02
	その他の 0.43
	合計 100.00
	水分 38.15
	可燃分 55.84
	炭素 29.94
	水素 4.39
	窒素 0.64
低位発熱量(kJ/kg) ^{※3}	酸素 20.67
	燃焼性硫黄 0.01
	揮发性塩素 0.21
	灰分 6.01
	合計 100.00
低位発熱量(kJ/kg) ^{※3}	10,908
見掛け比重(kg/L)	0.111

※1 年度代表値とは、年4回の調査の平均値です。端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

※2 湿ベースとは、水分を含んだ状態でごみを分別し、組成分析を行った結果です。

※3 低位発熱量は、ごみ焼却施設各種試験マニュアル(社団法人全国都市清掃会議発行)に準じて測定した実測値です。